

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和7年 7月 29日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 〒620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目29番地	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 武蔵キャスティング株式会社 代表取締役社長 執頭 善也 電話番号：0773-27-2058

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	環境マネジメントシステム IS014001
適 用 範 囲	武蔵キャスティング株式会社 本社工場及び三和工場
導 入 年 月 日	2001年 11月18日
認 証 番 号	JAERO292
基 本 方 針	「環境方針」参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 電力原単位の前年度比1%の改善 2. 廃棄物排出量の前年度比10%削減 3. CO2削減 前年度目標1,469CO2-ton 実績1,837CO2-ton 今年度目標432CO2-ton 6月まで実績65CO2-ton 4. 切粉リサイクル 5. ECOMO導入 CO2削減 84CO2-ton その他、「個別目標あり」による
目標を達成するための取組の内容	1. 省エネルギー 1) 溶解炉 使用電力削減 2) 電力削減装置ECOM導入 3) 長期連休中 停電措置 4) フォークリフト電動化 2. 廃棄物削減 1) 切粉リサイクル（社内循環） 2) 電子化によるペーパーレス化推進
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 省エネルギー 1)～3) 実施継続 2. 廃棄物削減 1). 2) 継続実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	上記施策を事業計画に織込み、継続改善を推進する。 溶解電力の改善は、CO2削減効果が大きい為、溶解時の設定電力変更による削減が効果を上げている。CO2換算で70.7CO2-tonの効果があつた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令順守については、環境ISO監査を実施し遵守状況の確認を行い特に問題となる点の指摘事項はなかつた。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	電力使用量低減に対して、電力費等の週報アプリによる電力管理向上、コンプレッサの電力等の見える化によるエア漏れ防止対策、ECOMOの継続導入による電気ロス低減を推進している。廃棄物排出量低減に対して、大型ブリケットマシンにより切粉の全量ブリケット化の継続や製品パレットの内製による補修によるパレットの廃棄低減が推進されていた。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。